



鳥取県東部中小企業青年中央会 会報

大空

【サブテーマ】
～人として生きる～

2019年6月発行 N.191

発行人: 茶谷 友士(第44期 会長)
編集責任者: 伊藤 省吾(今を生きる僕たちの委員会)
編集委員会: 今を生きる僕たちの委員会



鳥取県東部中小企業青年中央会

- 綱 一、われわれは自己の研鑽に努め、英知を養う。
一、われわれは社会に奉仕し、お互いの友愛を深める。
領 一、われわれは団結して中小企業の発展を図る。

URL <http://www.tsc21.gr.jp/>

E-mail tsc@tsc21.gr.jp

FB <https://www.facebook.com/east.chuoukai/>



会長挨拶

第44期会長 茶谷 友士



いよいよ44期会長として、最後のおおぞらとなります。皆様に支えられて、なんとか次の45期にバトンを渡す事ができます。特に第16回フラワーフェスティバルでは、OB企業様をはじめ、青年中央会内外からたくさんのご協賛、ご協力を頂きまして、来場者数1万人を超える大イベントとなりました。平成最後の例会として、大盛況のうちに終える事ができました。本当にありがとうございます。

この令和元年6月で7名の方がご卒会されます。全員、青年中央会が大好きな方ばかりです。時間は戻す事ができません。これも自然の摂理と頭では分かっている、とても寂しい気持ちでいっぱいになります。7名の卒会者の皆様、ご卒会おめでとうでございます。また今まで、ありがとうございます。

歴史ある鳥取県東部中小企業青年中央会が、これからも皆さんに愛される会、所属していて誇りに思える会となる様に、私も現役会員として、残り最後の1年間、全力で活動致します。45期吉田会長、また、林県会長を宜しくお願い致します。

2月例会

Money ジメント委員会 委員長 森田 功一

2月21日(木)にホテルニューオータニ鳥取鳳凰の間にて、講師例会を開催しました。講師の選定は委員会テーマのお金をベースに考え、委員会メンバーと話し合った結果、顧客リピート総合研究所株式会社の一圓克彦氏をお招きすることになりました。今年度、学んでいこうと考えていたお金のマネジメントにぴったりの『0円で8割をリピーターにする集客術』という演題でご講演頂きました。会員の皆様の本業にも参考になる内容、そして楽しい講演会にしたいと思えました。そして当日は一圓氏の数々の実績、経験を踏まえて非常に実のある、そして楽しい講演会になったと思います。

この日に向けて委員会一丸となって打ち合わせを重ね、準備をして参りました。他委員会の皆様にも動員から当日運営まで多大なご協力を頂きました。面白かった、良かったという声を多数いただいたのも、皆様のご協力があったからこそだと思っています。本当にありがとうございました。



3月例会

アウェアネス委員会 委員長 倭島 考史

3月20日(水)に開催いたしました「臨時総会・3月例会」にご参加していただきまして、誠にありがとうございました。臨時総会では次年度副会長が承認、次年度県会長予定者推薦も承認され、例会を終えることができました。

例会テーマを「SDGs」～持続可能な地域と企業の在り方～とし、企業での環境問題への取り組みが無視できなくなった現代において、SDGsを学び企業のイメージアップや信頼獲得はもちろんのこと、経費削減や新たなビジネスチャンス、ビジネスパートナーとの繋がりや気づきを「NPO法人エコフューチャーとっとり」副理事長の山本ルリコ氏をお招きして、「持続可能な開発目標」を通じて、ビジネスと環境に対し意識を向上させ、持続するより良い企業づくりへと繋がらるきっかけになれば幸いです。



4月 第16回 フラワーフェス

4月21日(日)に開催された第16回フラワーフェスティバルin湖山池、当日は晴天に恵まれ、集客の核と位置づけたステージイベントは、とにかく明るい安村、鼠先輩、この鳥取の地で活躍されておられる皆様の演技で盛り上がり、フラワーフェスティバル名物Tザニアをはじめ、アクアチューブ、ONIIGOKKOブースなどの新しい企画、子どもたちがワクワクすることを目指したkids park、防災体験コーナー、湖山池しじみストラップ作り、屋台・フリーマーケットなど会場中多くの来場者でにぎわい、オアシスパークいっぱい「楽しい！」を咲かせることができました。

来場者の方から、「こんな凄いイベント毎年開催しているのですか?」「子供達が楽しんでいます」との嬉しいお言葉もいただきました。そんな華やかなイベントの影で、会員の皆様が、担当セクションを運営するために奔走してくださったこと、それぞれの専門性をもって会場設営、企画を進めてくださったことに、東部青年中央会の底力、熱い思いを感じ、改めて自分がこの会に所属していることを誇りに思います。

また、企画運営にあたっては、名義後援、協賛広告等で多くの企業様、OBの皆様にご協力をいただきましたことに心より感謝いたしております。おかげさまで、新たな証を刻むことができました、本当にありがとうございます。



5月例会

十方美人委員会 委員長 大谷 拓也

令和元年5月16日(木)、とりぎん文化会館第一会議室にて臨時総会、5月例会を開催致しました。

臨時総会では令和元年度役員承認が可決され、次年度役員陣営が固まり、45周年を迎える東部青年中央会・吉田年度の準備が本格化して参ります。

5月例会では、茶谷会長の掲げる年度テーマ「証を刻め」～人として生きる～のもと、各委員会・実行委員会がこの一年間活動してきた内容を報告する「平成30年度委員会活動報告会」を行いました。各委員長がこの一年間の思いを込めて作成、発表した内容は、本当にそれぞれが個性に溢れ、また、どれも温かいものでした。そして、各会員は所属委員会の活動を振り返り、懐かしむと共に、他委員会の魅力ある活動、思い出に触れることの出来た胸の熱くなる素敵な例会でした。



ティバル in 湖山池

サバイバル委員会 委員長 上田 隆

みんな来てね～!! 鳥取県東部中小企業青年中央会
第16回 フラワーフェスティバル in 湖山池
咲かそう ふれあいの花 平成31年4月21日 日



会長杯ゴルフコンペ

幹事 吉田 雅之

5月19日(日)、旭国際浜村温泉ゴルフ倶楽部湖山コースにおきまして、会長杯ゴルフコンペを行いました。優勝は久本会員、ベストは驚異の76、西田会員でした。初めてコースを回られた会員にも楽しんでいただけたようでした。来賓、OBの皆様にも多数ご参加いただきまして感謝いたします。次年度もよろしく願いいたします。



継承の集い

サポート実行委員会 委員長 松島 祐一

5月14日(火)とりぎん文化会館第2会議室にて対象者20名を迎え、総勢40名にて継承の集いを開催しました。40周年ビジョン検討委員会メンバーの牧浦OB、常田OB、森原OBをお招きして「当時の活動を振り返って」をテーマにご講演頂きました。

節目の45期を迎える前に、今一度立ち上げ当時の想いや考えを振り返り「綱領」「キャッチフレーズ」「T.S.Cの4つの挑戦」「10年ビジョン」の役割を考え、会員が同じ方向を向いて次の50期へ歩む、DNAを継承して頂きました。ありがとうございました！



県臨時総会／ビジネス教育事業

県出向理事 工藤 陽平

3月23日(土)に米子市福祉保健総合センターふれあいの里にてビジネス教育事業を開催しました。人材支援ルーム株式会社 北沢公博氏を講師に「自己分析とモチベーションアップ」についてお話頂きました。講演ではワークショップを通して、人との関わり方や夢の持ち方、心の在り方などを学びました。その後の懇親会は北沢先生にもご参加いただき、東・中・西部の親睦を深めました。本事業開催に際しご協力賜りました皆様へ厚く御礼申し上げます。



お仕事の使える豆知識

「安全第一」の続きって？ サバイバル委員会 久本副委員長

工場や工事現場等で必ずと言っていいほど目にする「安全第一」の文字ですが、続きがあるのはご存知ですか？それは、「品質第二、生産第三」です。この標語は、アメリカで生まれ、当初は「生産第一、品質第二、安全第三」だったそうなのですが、労働災害が多発したため、安全を第一にもってきたところ、労働災害は減少し品質も生産も向上したそうです。そしてアメリカ全土に広がり、やがて世界中に広まりました。これからの季節は熱中症などの労働災害に十分注意しなければいけませんので、ぜひこの三つの標語を心に留めて、安全を第一に暑い夏を乗り切りましょう！



令和の時代が始まり、執筆時点でちょうど1カ月が経った。みなさんは何を思い、どのように過ごされただろうか。

私の母方の祖父は、大正11年生まれ、満97歳。新元号の発表の日、その時間は、その祖父の告別式であった。祖父は、大正、昭和、平成の3つの時代を生きたが、令和という名をその耳で聞くことはなかった。祖父と私は一緒に暮らしておらず、顔を合わせるのには年に数回あるか。私が18歳で地元を離れてからは、さらに少なくなった。1度の時間も短く、祖父も寡黙な性格であったため、どのような人生を送ってきたのかはほとんど知らない。ただ祖父が居てくれたからこそ、私が今ここに存在している。

キムタツ
副委員長の
エッセイ



新入会員紹介

- 2月 北脇 規靖氏 株式会社 清水 アウェアネス委員会
- 2月 山根 久承氏 株式会社 北旺鉄建 アウェアネス委員会
- 4月 山下 大輔氏 山下建築 株式会社 グローバライズ委員会



Information

新社屋落成

- 松藤 勇貴会員 H31.4/1 埼玉県川口市内に「川口くれよん保育園」をオープン。
- 神奈川県川崎市内に「坂戸くれよん保育園」をオープン。
- 千葉県船橋市内に「船橋くれよん保育園」をオープン。
- 神奈川県大和市内に「大和第2くれよん保育園」をオープン。
- 西田 誠一会員 H31.4/15 鳥取県米子市内に「株式会社アクシス 米子オフィス」を開設。
- 鈴木 丈夫会員 H31.4/29 鳥取県末広温泉町に「やきとり家すみれ」をオープン。

平成30年度 卒業生からのメッセージ



千馬 高広 「大人の部活」、「経営者の部活」

平成15年7月に青年中央会に入会させていただき、今となっては、あっという間の15年でした。その15年の間に多くの先輩・後輩の皆さんとかがかわることができて、自分自身ほんとに勉強になり、成長させていただいたと思います。私の思う青年中央会は、「大人の部活」、「経営者の部活」だと思っています。仕事(学生でいうと勉強・授業)が終わってからみんなで集まり、目標に向かって(自身・会社の成長)活動する。部活の中では、時には上下関係も考え礼儀正しく振舞い、時にはそれを気にせずみんなで和気あいあいバカ騒ぎする。メリハリのある元気で楽しい会、それが青年中央会かなと…。

現役の皆さんには、是非とも役員を一度は経験していただき、大変なことも、楽しいこともすべてひっくるめて青年中央会を感じてもらえたらと思います。最後に先輩の皆さま、そして現役の皆さま、本当にお世話になりました。ありがとうございました！



安養寺 務 「君達にはまだ時間があります」

多くの皆様からの助けをいただいて、卒会の日を迎えられました。この場を借りて感謝申し上げます。入会した頃を思い返せば、事務所運営は順調と言えず、年会費を納め続けられるかどうか不安を抱きながら中央会に出席していました。

紹介者である平井義一〇〇(当時委員長)の「何かを持ち帰ろうと思って真剣に取り組んでいけば、必ず何か得られる。中央会の時間を無駄にするな。」という言葉に信じて頑張ってきた結果、今があると述べています。

もう少し時間が欲しかった。もう少し中央会の会員でいたかったというのが本音です。後輩諸君、君達にはまだ時間があります。卒会するしないに拘わらず真剣に取り組んで中央会の活動を終わってください。最後に感謝の気持ちで活動を終わられるのは最高です。ありがとうございました。



瀧村 優 「青年中央会の全てのみんな、ありがとう」

この青年中央会に入会させて頂いたのが平成20年度の2月でした。入会当初は青年中央会の活動の意味すら分からず、先輩からは「とりあえず委員会や例会に参加しとけばいいいけ」と言われ、なんとなく出席だけしていました。それから10年5カ月在籍し、中央会を通じてたくさんの方々との出会いや繋がり、そして中央会じゃなければ出来なかった経験、委員会活動や例会、そしてフラーフェスティバルなどのイベント活動、それら全てをここでは言い尽くせませんが、その全てが私の学び場になっていきました。今となっては私を入会に誘って頂いた森原〇〇や私に関わってくれた青年中央会の全ての皆様には本当に感謝しかありません。最後にこの魅力ある鳥取県東部中小企業青年中央会がこれからも益々発展されることを願っております。本当に皆様「ありがとう」。



高井 清貴 「ONE FOR ALL, ALL FOR ONE」

鳥取県に移住して17年、青年中央会と出会って10年、入会して8年が経ちました。役員も3度経験させていただきました。在籍中には多くの方々と交流ができ、本当に楽しく、また、その中で自分に足りない事、物や考え方を“気づき”“感じ”“学び”させていただきました。委員長時代には、副会長、副委員長メンバーに恵まれ、本当に助けていただきました。そして、自分の想いを例会に反映する事が出来ました。何度も夜遅くまで、会議を重ね、準備をした事など、私にとって苦い経験であり、何より青年中央会の大切な、貴重な思い出です。“ONE FOR ALL, ALL FOR ONE” 私の中の大切な言葉です。

現役の会員様へ、会長の年度テーマの元、委員会活動を楽しんで、会を盛り上げて、交流を深めてください。その事が皆さんにとっても、会長にとっても最高の年度になるに違いありません。限られた時間の中、情熱を燃やして、現役生活を楽しんでください。



谷川 裕美 「居心地のいい自分の居場所」

「自分の居場所は自分でつくる！」平成24年7月、入会直後にごう決意してから早7年。丸7年という短い時間でしたが、お陰様で地区でも県でも「居心地のいい自分の居場所」をつくることができ、私と関わってくださった素敵な仲間の方々に感謝の気持ちでいっぱいです！！入会直後、先輩方がかけてくださる温かい言葉や心配り、そして性別関係なく「仲間」として活動できることが本当にありがたく嬉しかったことを、昨日のことのように思い出します。役員を経験させていただくことで、いろいろな人と時間を共有し、腹を割って話せる素敵な仲間ができました。また、いろいろな人に助けていただくことで初めて職責を全うできるという委員長経験は、大変貴重なものでした。是非とも役員を経験してください！そして、委員会を陰で支える副委員長を経験したうえで委員長を経験することで、幅広い視野をもって細やかな心配りができる役員になってください！素敵な仲間だけではなく、人生の伴侶にまで出会わせてくれた青年中央会が大好きです☆7年間、本当にありがとうございました！！



加藤 貴義 「青年中央会は自分にとって出会いの場」

青年中央会は自分にとって出会いの場でした。数多くの方と僅かな期間で出会える貴重な場所でした。また同年代の仲間との出会いが自分にとっての刺激を与えてくれるそんな場所でもありました。日々の仕事では経験できないことを多くの仲間たちと経験できる非常に楽しい時間を共有できたことを本当に感謝しています。

入会前はどんな団体だろうか？危ない団体だろうか？と不安に思ったこともありましたが、今思えば中央会に入会したことを本当に良かったと思っています。入会を勧めてくださった茶谷会長には感謝しかありません。今後鳥取県東部中小企業青年中央会がますます発展していくことを願っております。ありがとうございました。



間屋口 貴仁 「出逢い、強みを磨き、証を残す」

私は、東部中小企業青年中央会の歩まれた45年間と同じ時間を生きてきました。昭和、平成、令和と時代が流れながらも確たる信念を持ち活動されてこられた東部中小企業青年中央会並びに諸先輩方に敬意を表します。今まで出会う機会すらなかった仲間と「出逢い」、自分の「強味」が何であるかを考える機会を頂き「磨き」続け、自分が当会に所属していた「証」を残すべく活動に参加させていただきました。物事を論理的に考え、論理的に伝える技術を身に着け、チーム力を向上させる武器「ボトムアップ理論」を手に入れました。そして、手に入れた「技術」と「武器」でフラーフェスティバルという「サバイバル」に挑みました。これらの経験は間違いなく自身の中に植えつけられました。在籍期間も短く何もできず卒業を迎えてしましますが、卒業後もこの出逢いを大切に自分の強みを生かして陰ながら応援・協力させていただきます。東部中小企業青年中央会のこれからは幸多からんことを祈念して…。